

2019年6月21日 山王保育園「いのちの勉強」

山王保育園の年長児さんと保護者の方に「いのちの勉強」と称して、遺伝講座を行いました。

だれでも見たことのあるキャラクターや自分の特徴を見つける特徴探しゲームやその特徴を使った特徴ゲームをしました。それぞれキャラクターの特徴を指さしながら大きな声で特徴を発表してくれました。自分の特徴を探すときには、お友達と真剣に見つめあったり、鏡の中の顔を見たりして「〇〇くんは一重だねー！」「〇〇ちゃんは二重だ！」など楽しく元気な声があふれていました。保護者の方も「私、耳たぶ離れてる！」「巻き舌って練習したらできるものだと思っていました。」と新たな発見があったようです。



PTU の味では、なめた瞬間に「にがい！にがい！！」といって顔をしかめる子もいれば、「？？？」ときよんとしている子がいて、保護者の方も「これは味がするものなんですか？」と聞かれることもありました。味がするのもしないのも特徴ですよ。という説明をすると、みなさん驚いていました。

みつけた特徴をつかって遺伝の木にたくさんの花を咲かせることもできました。特徴の有無で分かれた枝をたどるときには、どの枝に自分の顔の花が咲くか、友達がどの枝に自分の花をさかせるかをみんな興味津々で見っていました。どの特徴になるか悩んでいる友達にやさしく教えている子ども達の様子を見ることもできました。



会の終わりに終了証をもらった子ども達が「特徴ってみんな違うこと！」と大きな声で話しているのを聞いて、この遺伝講座で「特徴」や「唯一性と多様性」「みんなと違ってもいい」ということが子ども達にも伝わったのかなと実感できた瞬間でした。笑顔で楽しそうに参加する子ども達の姿から教える側の私たちが学ぶこともたくさんありました。山王保育園のみなさん、ありがとうございました。

報告：遺伝看護・遺伝カウンセリングコース2年 高尾 真未